

廃校舎の活用に向けて

～人と人を結びつけるために～

1年2組 加藤葉月 佐藤佳乃 清水裕理 中嶋菜月

要旨

近年増え続けている廃校舎の問題に、活用案の作成やフィールドワーク等でアプローチした。NPO法人「みんなの街」の方に協力していただき、実際に活用に成功した施設の見学や北杜市の廃校舎の調査を行った。

1 目的

今日廃校舎の増加は全国的に問題となっている。北杜市でも活用されていない廃校舎だけでなく、これから廃校予定の校舎もあり、この問題はますます深刻性を深めている。「自分の母校が廃校になら寂しいし、もったいない…。」そう考えた私たちは、廃校舎の活用に向けて取り組むことにした。またこの研究を通して少子高齢化が進行する北杜市の活性化につなげることを最終目標とした。

うづくり体験等ができる。今回見学した明治校舎は歴史資料館として活用されている。



大正校舎

2 方法

フィールドワークを中心に廃校舎の活用に取り組んだ。

NPO法人「みんなの街」の方にも協力していただいた。

3 結果

① 三代校舎・藤村記念館の見学 (6/27)

i) 三代校舎…旧津金学校を改装し商業施設として再生した廃校舎。昭和校舎にはレストランやパン屋があり、宿泊施設にもなっている。大正校舎では農業体験、ほうと



昭和校舎の販売コーナー



明治校舎



明治校舎のお弁当箱と足踏みオルガン



明治校舎にはカフェもある

当初、三代校舎は取り壊す予定だったが地元の人の声により存続されることとなった。このことから、廃校舎の活用には**地元住民の声が大切である**ということがわかった。

ii) 藤村記念館…旧睦沢小(現在の山梨県甲斐市)を歴史資料館として再建。甲府駅北口にあるという立地条件のよさから客足は安定しているようだ。また、定期的にコンサートを開催しているという。



藤村記念館



教室の様子

i) ii) より

どちらも歴史資料館として活用されていた。しかし北杜市の場合、交通や人口の面から見てその活用は難しいと考えた。また、私たちは、主体性のある活動を行いたいと考えたので新たな活用案を検討することにした。

② 旧秋田小活用案作成&見学(7/28)

i) 活用案作成

先輩の先行研究を参考に北杜市で活用できそうな廃校舎を検討した。現在小学校21校、中学校8校が廃校になっている。そのうちいくつかは福祉施設や美術館として活用されている。よって以下の条件から活用対象を秋田小に絞った。

条件と考察)

市の資材倉庫として市で管理している。
→市に依頼すれば活用実現の可能性あり。

体育館と校庭は避難所、避難場所に指定されている。

→整備されている可能性がある。

保育園が近くにある。

→子供たち向けの活用で地域活性化。

甲陵から近い。

→甲陵生とコラボした活用ができる。

また、これらの条件を踏まえて秋田小の活用案を考えた。

旧秋田小活用案)

- ・無料塾
- ・飲食系商業施設
- ・農家、保育園送迎者の休憩スペース
- ・プールでつかみとり
- ・季節ごとのイベント
- ・囲碁・将棋教室
- ・料理教室
- ・フリマ

ii) 見学

前記の活用案を実際に実行できるか確かめるため旧秋田小に足を運んだ。しかし、先ほども述べたように秋田小は市の資材保管庫として管理されている。その資料の量ははるかに膨大で移動は難しいという。

現時点での秋田小の再生利用は難しいということがわかった。



保管された文書



整備された校庭

③ NPO 法人「みんなの街」のボランティアに参加

NPO 法人「みんなの街」…幸せに暮らしたいと願うすべての人々に対して、不安なく幸せに暮らせる社会の実現、提供に寄与する事を目的とする。上記の目的のもと、空き家、耕作放棄地、山林等資源の有効活用及び、生活スタイルの提案、人と人との繋がり促進などの活動を行うことで、食や住に関する不安が和らぐ環境作りを目指す。

(やまなし NPO 情報ネット HP より)

高校生だけの力で廃校舎の活用を実現させるには限界があると考え、NPO 法人の室田様に協力

していただくことになった。夏休みを利用して古民家改修のボランティアに参加した。その中で普段の活動にも触れることができた。また、北杜市役所の管財課で廃校舎の現状について話をうかがい、旧増富小が活用できそうだという情報を得ることができた。

④ 旧増富小見学（8/17）&活用案作成

増富小…平成元年に開校、平成24年に年に閉校。学校法人が管理していたが契約をやめた。今後は市が活用案を募集する予定だという。

旧増富小の様子)

標高900メートルほどで涼しく、周囲は自然豊か。

増富温泉が近くにあり、韮崎駅からバスが出ている。

体育館には用具が残っている。

校庭は整備されていて、特別教室の設も整っている。

これらの現状を踏まえて活用案を作成した。

旧増富小活用案)

- ・校庭でキャンプ。
- ・校舎を利用した合宿。
- ・自然を生かした体験活動。
- ・地元の人と交流しながら、特産品、特産物を製作し販売する。



校庭



体育倉庫の卓球台



体育館の様子



近くにあるダム湖



廊下はフローリング

⑤ 無料塾開講（8/18・20）

当初、旧秋田小の活用案として無料塾を考えていた。しかし、秋田小での開催が難しくなり、最終目標である、「北杜市に活力を与える」ことを達成するために必要なことを考えた。その結果、廃校舎の活用という段階を踏まえずに無料塾を開催することが一番良い方法だと考えた。そこで夏休みを利用して2度の無料塾開講をおこなった。まだ廃校舎での活用は実現していないが、その前に一度子供に教えるという感覚をつかむことも必要だと考えた。一部甲陵生の協力も得ることができた。

場所：長坂農村改善センター

対象：小中学生

時間：13:00～16:00（50分ごとに休憩）

（農業改善センターは普段は有料だが、授業の一環ということで無料で貸し出させていただいた。）

成果)

小中学生と楽しくふれあうことができた。

楽しそうに勉強していた。

北杜市のいろいろなところから参加してくれた。

2回とも参加してくれた子がいた。

小学生の感想)

楽しかった！

いろんな人がいろんなことをしていて面白かった。

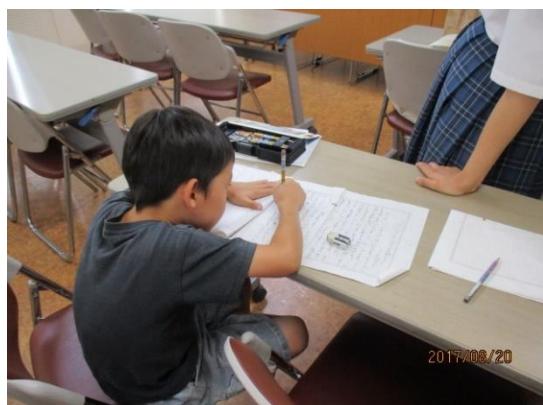
集中できた。



折り紙を折った



勉強している様子



宿題を頑張る小学生

後日、無料塾に顔を出してくださった学正博次さん（甲府、南アルプス、吉田、長坂、韮崎で「タダゼミ」を開催）から資料が届いた。
資料をもとに無料塾継続の案を作成した。

無料塾（案）

目的「地域の子供たちとの交流と可能性の発掘」

- ・夏休みの開講を通して、地域の子供たちとの交流を深め、子供たち同士での友好関係も築くことができた。今後も持続させることによって、さらに地域の交流を深めたい。

- ・何らかの事情で塾や学校に通えない子供たちの居場所を作りその可能性を広げる第一歩になりたい。

対象：小中学生

日時：A週の土曜日、13:00～16:00

場所：農業改善センター

教材：各自で自由に持参

※事前電話予約制。開講の頻度は様子を見て変更あり。

今後は甲陵生にも参加してもらいうながら継続させていく予定だ。

10月21日、第2回の無料塾を開催した。広告不足もあり、夏休みほど参加者は集まらなかつたが、北杜市議会議員の方にもあたたかい励ましの言葉をいただいた。この反省を活かし、次回もさらに楽しく活動をし、輪を広げて生きたい。

4 考察

今のところ旧秋田小の活用実現は難しく、旧増富小は活用実現の可能性があることがわかった。また無料塾を通して、子供たちの笑顔は地域の活性化につながると確信した。

今後の計画としては、まず、無料塾を通して地域のコミュニティを作ることから始め、いずれは、廃校となって子供の姿が見られなくなった増富小学校でキャンプを開催したり、地元の方と交流したりして、北杜市に活力を与える。

5 結論

少子高齢化に伴い、今後も日本各地で増え続ける廃校舎。一見取り壊した方が早いように思えるが、そこには数え切れない思い出が残されている。取り壊してしまうのはあまりに悲しく、もったいない。新たな形で活用できたら…。きっとそれは思い出の継承だけでなく、地域の笑顔にもつながる。

高校生だけでの活用なんて不可能に近い、なんてことはない。限度はあるが可能性はそれを遙かに上回る。考えるだけでなく、まずは一步を踏み出してみよう、という気持ちを持つことが大切だと改めて実感した。多くの協力を得ながら、今後もこの活動を継続させていこうと考えている。

6 参考

NPO法人「みんなの街」HP

<https://mina-machi.org/>



7 謝辞

全面的にサポートしてくださったNPO法人「みんなの街」の室田泰文さん

無料塾の際趣旨に賛同し、協力してくださった雨宮優花さん、西牟田こころさん

研究初期から見守ってくれた平島陸巳くん

私たちの見学を快く受け入れてくださった「おいしい学校」さん「藤村記念館」さん

廃校舎の見学や調査の際、お世話になった北杜市役所管財課の岡田さん、佐野さん

無料塾を温かく見守ってくださり、資料を提供してくださった学正博次さん

私たちの急なお願いも受け入れてくださった先生方

たくさんのご協力、
本当にありがとうございました！